



～学校・家庭・地域、みんなで子どもたちを育てよう～



PTA 親子除草作業を通して

余子小学校（9/12）、中浜小学校（8/22）で今年も親子除草作業が行われました。9月の運動会を前に、学校敷地内を親子、教職員みんなできれいにしよう、というPTA主催の行事として以前から続いているものです。

余子小学校では、新型コロナウイルス感染症予防対策として、大人だけで作業をしましたが、両校とも地域の方にも声をかけ、作業に参加していただきました。汗をかきながら一緒に同じ作業を行うことで、そこから参加者が何かを感じてくださることがつながり作りになります。

保護者の皆さんや子どもたちは地域の方に、「手伝ってくださって助かるなあ」「草の取り方が上手だなあ」地域の皆さんは「お父さん、お母さんも頑張ってるなあ」「子どもたちは元気だ」どんなことでもいいです。そこからお互いに関心を持つことが生まれます。つながり作りはそこから始まります。

除草作業に参加くださった皆さんお疲れ様でした。整った環境で無事運動会を開催することができました。ありがとうございました。

余子小学校の様子

中浜小学校の様子



— つながった瞬間 —

Nさんは、毎日の出勤時間に必ず出会う中学生に、「おはよう」とあいさつをしていました。名前も住んでいるところも知らない生徒です。その生徒から返事は返ってきませんが、Nさんは「おはよう」と必ず声をかけました。

そんなある日、いつも出会う生徒の方から「おはようございます」とあいさつされたそうです。Nさんの気持ちが通じた瞬間です。きっとその後も気持ちのいいあいさつが、交わされていることでしょう。

中浜小学校では地域の人と、顔と名前がわかる関係作りに力を入れています。その1つとして、児童が近所に住んでいるボランティアさんに、学校だよりを直接届ける取り組みがあります。

Kさんの家に学校だよりを届ける児童が、間違っって違う家に届けていました。そのお宅から連絡を受けたKさんは、児童に自分の自宅を教え、そのときジュースをあげたそうです。Kさんに次の学校だよりが届いた時には「この前はジュースをいただきありがとうございました。おいしかったです。」と児童の手書きのお礼がそえられていたそうです。Kさんは「涙が出そうなほど嬉しかった。」と話されていました。

また1つ素敵な関係が生まれました。